

3 日本の気候

○日本の気候の特色

日本の気候：本州・四国・九州は温帯、北海道が亜寒帯(冷帯)に属し、()の変化が明らか
 →季節風の影響が見られる

- 夏：太平洋上から暖かく湿った大気が運ばれる
 →夏に雨が多く降る
- 冬：ユーラシア大陸から冷たく乾いた大気が運ばれる
 →日本海の上を吹くことで湿った風になり、日本海側では冬に雪が多く降る

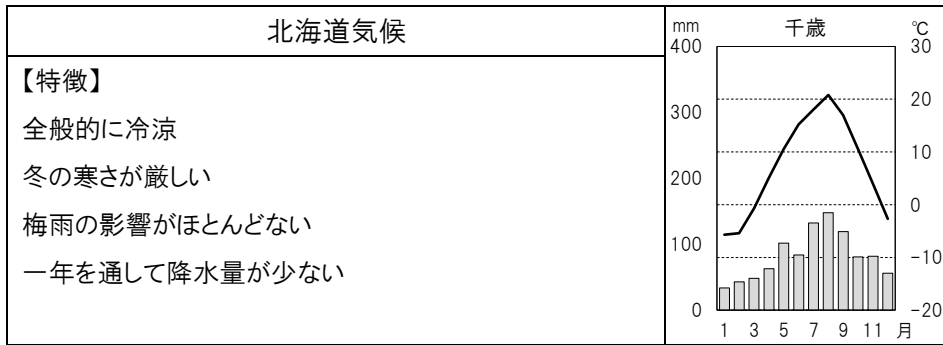
(*)とは、日本列島で6月から7月頃にかけて雨の日が続く状態のこと
 →太平洋上の暖かい空気とオホーツク海上の冷たい空気がぶつかり、梅雨前線ができて長雨となる

(*)とは、赤道付近で発達して、東アジアなどに近づく移動性の熱帯低気圧のこと

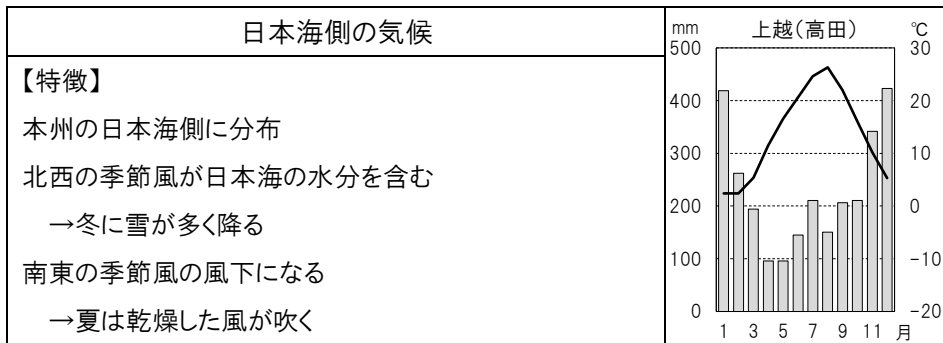
○日本の気候区分

日本の気候：気温・降水量など月別の変化をもとに、六つの気候区に分けられる

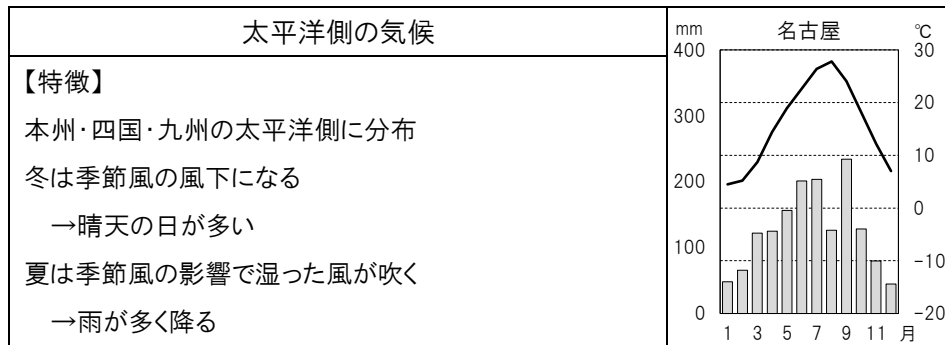
(*)とは、全般的に冷涼で、特に冬の寒さが厳しい気候のこと



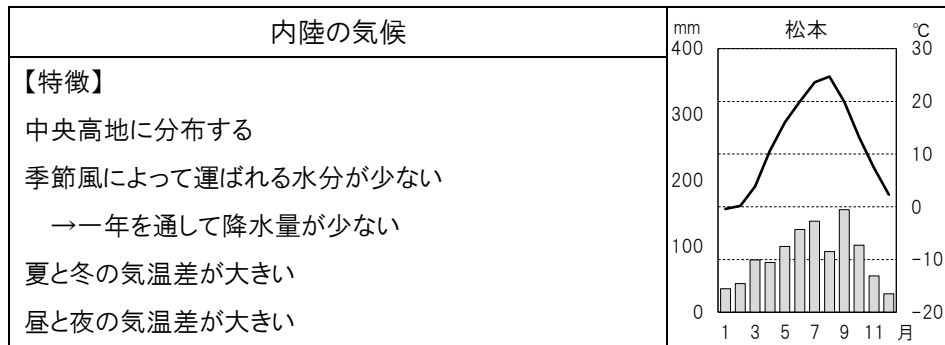
(***)とは、冬に雪が多いという特色のある気候のこと



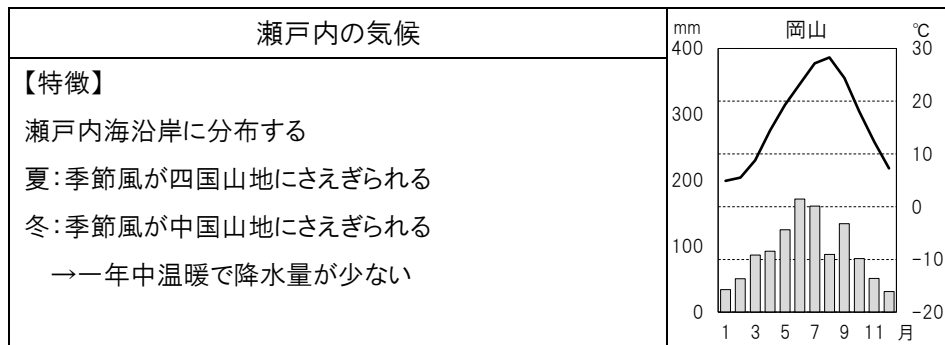
(***)とは、冬は晴天が多く、夏は雨が多い気候のこと



(**)とは、一年を通して降水量が少ない気候のこと



(**)とは、一年中温暖で降水量が少ない気候のこと



(**)とは、一年を通して雨が多く、秋の降水量も多い気候のこと

